

# 4月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,582	98	11,495	79	114	97	0	0.0	千葉産中心の入荷。生育は順調で、産地によっては生育前進も見られている。入荷量も順調であるが作付面積の減もあり、予想入荷量は前年より微減。価格は前年より高いが平年をやや下回る。上旬は上げ基調高まるが、中旬以降は千葉・茨城産がピークを迎え下げ展開が見込まれる。
はくさい	6,255	100	6,371	53	113	74	0	0.0	茨城産中心の入荷となる。茨城産の春作は早いほ場では若干の生育遅れが見られるものの、回復の見込み。予想入荷量は前年並みだが引き合いが強く、価格は前年を上回る見込み(平年よりは安い)。3月中旬は秋冬作が終盤を迎え相場は強めだが、4月に向かって需要減・春作増による下げ展開が見込まれる。
ほうれんそう	1,193	100	1,184	509	98	488	0	0.0	群馬、茨城、埼玉、千葉産など関東もの中心の入荷となる。現状、出荷状況は不安定であるが、4月は天候の回復により生育順調の見込み。生育進捗は天候によるが、4月分の播種は順調であり、株に不足はなく、予想入荷量は前年並み。価格は前年・平年とほぼ同じ。4月に出荷状況も安定し、高悩みから相場は下げ基調になる見込み。
キャベツ類	19,207	100	17,869	94	106	117	0	0.0	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷。神奈川、千葉ともに春作の生育は順調。愛知も小玉傾向は4月に回復する見込み。予想入荷量は前年並みで、価格は前年を上回るが、平年よりもやや安い見込み。中旬は学校給食の開始で引き合い強まり、下旬は愛知産の減少で上げ気配強まる。
ねぎ	4,051	100	4,025	243	97	258	6	0.1	千葉、埼玉、茨城産など関東もの中心の入荷となる。春作は降雨が多く太物の発生率が高いが、病害発生懸念もあり。4月は春作、秋冬作ともに量に不足はなく、予想入荷量は前年並みの見込み。価格は前年・平年を下回る。4月は需要停滞と増量により、相場は下げに入るが中旬以降は持合い推移。
きゅうり	7,024	110	7,077	282	96	258	14	0.2	群馬、埼玉、千葉、茨城産中心の入荷となる。埼玉、群馬は施設の再建がすすみ、作付面積は前年を上回っている。現状、西南暖地の曇天もあり出方は鈍いが、着果状況に問題はなく、天候回復に伴い出荷ペースも回復が見込まれる。予想入荷量は前年を上回り、価格は基調高の前年を下回るが平年よりも高く堅調。
トマト	7,623	前年並み ~やや増	6,921	361	97	395	0	0.0	熊本、栃木、愛知、千葉産中心の入荷となる。現状、全国的に天候不順の影響により出荷ペースが緩慢となっているが、4月出荷分の着果量は確保されている。天候次第だが、4月前半は微増、訪販は急増が見込まれる。予想入荷量は前年並み~やや増。現状が高値ということもあり、増量に伴い下げ基調の見込みなので、価格は前年・平年をやや下回る見込み。サラダ商材としての売り込みが活性化し、荷動き良好の見通し。